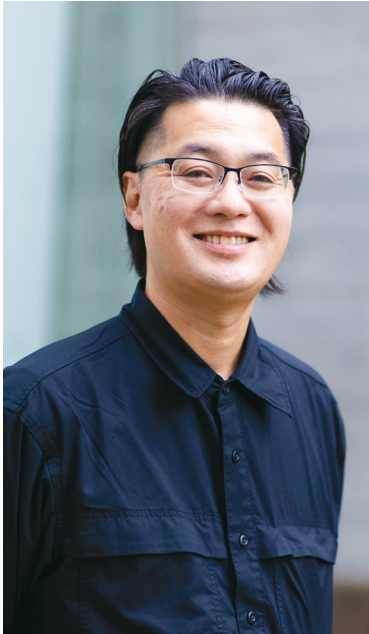




【新春対談】創業者視点で考える 活力と魅力あるまちづくり

それぞれの分野で活躍中の4人の創業者。各々が市内で起業し、奮闘しています。

西東京市で創業した理由や起業時に行政に望むことのほか、今後の夢まで、皆さんの思いを池澤市長に語っていただきました。



有馬 壮一郎さん

Tim hair gallery

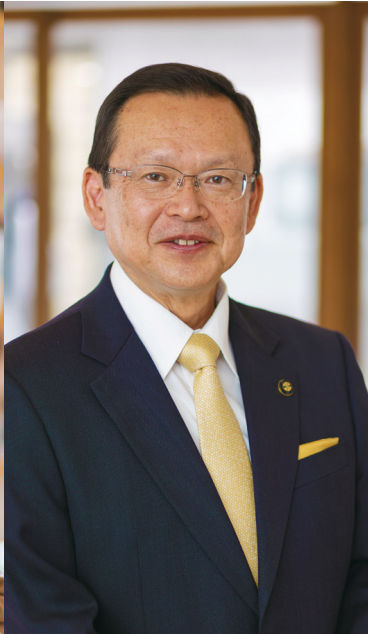
世界最大規模のカットコンテストでも多数受賞し、柳沢北口商店街にて男性専用の個室美容室を経営。隣では、無人カフェや飲食店なども運営。



深松 浩子さん

学び舎 子どものみかた

「子どもの可能性を信じつくす」を理念とし、自ら成長する力をつけるカリキュラムで個々に合わせた指導をモットーとする学習塾を運営。



池澤 隆史市長



船越 麻希子さん

IROHA

暮らしやすさを収納の視点から考え、使いやすく、片付けやすいオンラインワンの収納計画を建築段階から提案する住空間収納プランナー。



本澤 聡さん

Maison Jouer

フランスのコンテストで多数優勝し、季節の果物を使用したケーキをはじめ、フランスの伝統的な焼き菓子を提供する洋菓子店を経営。

01 創業の地に西東京市を選んだ決め手は？

市長 皆さんは、なぜこの西東京市で創業しようと思ったのかをお聞かせください。また、西東京市で創業する決め手になったものは何でしたか？

有馬 私は西武柳沢駅前で美容室と飲食店を営んでいます。子どもがいますので、子どもと接する時間を最大化しようと考えたときに住まいのある西東京市で創業しようと考えました。

保育園も近所なので、急病など何かあったときは、すぐ近くにお父さんがいるという昔ながらの地域密着スタイルがいいと思っています。



深松さん

深松 元々台湾に住んでいましたが、帰国するときに市役所の職員の皆さんがとても親切なのが印象的で決め手となりました。帰国後に病気になることも補助などの手続きを手取り足取り教えていただいて、とても心強かったです。

また、私は学習塾をやりたいのですが、近所に新しい家が次々に建って、引っ越ししてこられる家庭が増えたことで、この地は子育てしながら教育の仕事をするのに最適だと思いました。

船越 自宅で収納プランニング業を営んでいます。夫が西東京市に長く住んでいたこともあって、この地に家を建てました。

創業のきっかけは「ハンサムママ・プロジェクト（以下、「ハンサムママ」）」に出会ったことでした。場所を考えたとき、有馬さんと同じように子どもが小さいので近くで仕事をしたいと思い、自宅を始めました。自然も豊かなうえ、日常生活も便利で子育てもしやすいので、仕事と両立できています。

本澤 私は新宿区の洋菓子店で長く修業をしていたのですが、独立を考えたとき、下の子どもが小さかったこともあって、自宅からの距離やまちの雰囲気の良さで選びました。店舗は人通りを考え、ひばりヶ丘駅前のかつてのメイン通りに構えました。自宅から自転車で行くと、住宅地から畑、駅前のビル群などと景色が移り変わるところが気に入っています。自然も豊かでとても住みやすいまちだと感じています。

02 創業支援やスタートアップ誘致で、行政に望む役割は？

市長 創業支援やスタートアップ誘致において、行政が果たすべき役割(してほしいこと・もっとしてほしかったこと)は？

深松 私は「ハンサムママ」で起業の勉強をしたのですが、何も分からない状態から事業計画書や融資、物件探しなどの道順を教えてください、起業を後押ししていただきました。起業をしたくても何から始めればいいのか分からない方もいると思いますし、まだまだ「ハンサムママ」の存在を知らない人もいます。私は市報で知りましたが、SNSなどでも情報を発信されているので、多くの人に知ってもらいたいです。アイデア段階から創業前に必要な具体的なスキルの習得まで、市でフォローできる体制があると、勇気を持って取り組みます。

船越 私も深松さんと同じく「ハンサムママ」で起

業について教わりました。ブランディングや税務について学べるほか、出会った仲間たちから意見をいただいたり、背中を押してもらえるなど、支えになっている部分が多くあります。

創業時から子どもを保育園に預けられるなど、子育て面からも起業する母親のバックアップがあると、さらにありがたいと思っています。



本澤さん

本澤 私は西東京市創業スクールで融資関係の勉強をさせていただきました。創業する際、自分で調べて勉強しますが、分からない部分もたくさんあります。起業に対する勉強会などの取組は、起業する人にはとても役立つと思います。

有馬 創業時に資金的な部分でバックアップしていただいたのはとてもありがたかったです。特に融資を受けるための支援は、いいと思います。

ただ、クリエイティブな仕事など、店舗を構えないことで労働の実態が見えにくい業種の方に対しては、フォローの充実が必要ではないでしょうか。

03 市に活力を生むために必要なことは？

市長 西東京市をより「活力のあるまち」にするには、何が必要だと思いますか？

船越 私は商工会に加入していて、青年部で出会っ



船越さん

た方など、どんな仕事をしているのか初めて知ることがあります。そこで、「こんな人が地元でいて、こんな仕事をしている」ということを知る機会が増えれば、もう少し身近なところでつながり、さまざまな仕事が回るようになると、地元がさらに活気づくのではないのでしょうか。

本澤 私は洋菓子店を営んでいるので、西東京市の特産物について知りたいですね。地元産のフルーツなどを使ったケーキやお菓子を売り出すことで、地元の活気につながると考えています。

洋菓子店だとフルーツのほか、小麦粉などの穀物も使います。事業者同士をつなぐサポートがあるとうれしいです。

有馬 市長に提案したかったのですが、有料のフェスを開催してもらいたいですね。地元出身のミュージシャンやアーティストを集めたフェスを行うことで、市のブランディングにもなると思います。そうすることで蔵入にもつながりますし、市外からの集客によって市内の企業やお店も活気づくのではないのでしょうか。

深松 私は、教育分野の仕事をしていますので、まちづくりのことを考える際、どうしても教育分野に視点が向いてしまいます。西東京市の特徴として、小学校と中学校とが比較的近い距離にあると思います。より小・中の学校間での生徒の交流機会を増やすことで、横断的な学習ができればいいと思います。そのことが教育の質の向上につながり、まちの活性化にもつながる気がします。

04 10年後の夢は何ですか？

市長 皆さんの10年後の夢をお聞かせください。

本澤 最近はお菓子のネット販売が増えています。お客さまが遠方からでも来なくなるお店にし

たいと思っています。実際にご来店いただくことで、お店の周辺で食事や買い物をする機会が増え、まちを知ってもらえる。また、現在は広さの関係で販売のみの業態になっていますが、10年後にはイートインにも対応できるお店になりたいですね。

私は修業時代、多いときは1日に100台以上のウェディングケーキを作ることがありました。そこで培ったデコレーションの技術があるので、お店のおすすめはデコレーションケーキです。これからお誕生日など、皆さんのお祝いの席に同席できるケーキ作りに力を入れていきたいと思っています。



有馬さん

有馬 10年後には老人福祉施設を運営したいですね。現在経営しているカフェでは、毎週月曜日に認知症カフェを開催しています。そこは私の娘が通う保育園のお散歩コースになっていて、子どもたちと触れ合う高齢者の方が生き生きとしているのです。多様性のあるコミュニケーションが高齢者を元気にすると思い、積極的に行きたくなるような楽しい老人福祉施設を作りたいと思いました。そうすることで結果的に経済効果も生まれるのではないのでしょうか。

深松 私が運営する塾では子どもたちが授業のカリキュラムを作って探究学習をする「Myカリキュラム」を行っています。10年後には「Myカリキュラムをやりたいから入塾したい」と言ってもらえるような塾にしたいですね。

また、私は遺跡が好きで学生時代にカンボジアに行って、アンコール・ワットの絵を描いたことがありました。そのときに現地の子どもたちと触れ合い、カンボジアの教育の現状を知りました。ですから、もう1つの夢としては塾が落ち着いてきたら、カンボジアで教育のお手伝いをしながらオンラインで私の塾の子たちと交流できるような活動をしたいと思っています。

10年後には家づくりをする際に、私たちのような収納のブログが携わるのが当たり前になってほしいですね。本来、体格や生活スタイル、趣味など住む人によって必要な収納スペースの大きさや場所は異なるはずですが、住宅の収納スペースが画一的になっているのが現状です。

私自身が家を建てたときに後悔したこともあり、住み始めてから暮らしやすい住居は、収納が考えられた家だと思うからです。収納が工夫されれば片付けの負担も減りますし、家族みんなが住みやすい家づくりのお手伝いをしたいですね。

05 次世代の起業家へメッセージ

市長 最後に、若者や次世代の起業家にメッセージをお願いします。

深松 困難に直面したときは、やる方法だけを考えてほしいですね。どんな方法ならできるか考え続けることで、少しずつでも成功に近づくと思います。失敗したとしても、どうすればうまくいくか考えることで、いずれできるようになると思います。

有馬 まずは失敗を恐れずにチャレンジしてほしい、ということでしょうか。そして10回のうち、1回しか成功しない前提で取り組んでほしいですね。失敗したとしても、うまくいくまで自分が選んだ道で粘り強く、何度でもチャレンジしてほしいと思います。

船越 起業を選ぶのは勇気と覚悟がいることだと思います。現実楽しいことより大変なこと、悩むことの方が多くくらいですが、自分の目標に向かって少しずつでも前進することが大切だと実感しています。あとは自分も相手も笑顔でいられる仕事を心がけることでしょうか。自分にも言い聞かせていますが、お互いが笑顔でいられる仕事をしてほしいですね。

本澤 私もまずは笑顔で取り組んでほしいと思っています。起業すると悩むことも増えますが、それでも楽しく仕事をしてほしいですね。特に私の場合、作り手なので自分の気持ちや落ち込んでいると商品の出来にも影響してしまいます。どんな仕事でも、笑顔で楽しく取り組んでいただきたいと思います。

※女性の働き方サポート推進事業（ハンサムママ・プロジェクト）子育て世帯の女性を中心に、起業・創業および就労を支援するためのセミナーやイベントなどを開催し、女性の多様な働き方を推進する市の事業として、平成28年より実施。



専用QR

市長メッセージ

今年は4人の起業家の皆さんとの対談からスタートさせていただきました。職種が異なる方々でしたが、皆さんそれぞれに使命感を持ち、生き生きと将来の夢をお話しされる姿がとても印象的でした。また、市への要望やまちの活性化のアイデアなど、私たちも新たな気づきを得られました。

対談でも出ましたが、西東京市では「ハンサムママ」や「創業スクール」など新しく事業を始めようとする方を支援する制度を設けています。多くの方の起業を後押しすることで、まちが活性化し、市民の皆さんがより充実した暮らしを送れるようになると思います。今年も、多くの市民の方々と対話し、市民一人ひとりが健康に輝けるまちづくりに生かしていきます。

